

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床工学技士科(昼間部)	科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	臨床医学英語	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	3年次	学期及び曜時限	通年	教室名	
担 当 教 員	田中 智之	実務経験と その関連資格			

《授業科目における学習内容》

臨床工学技士として必要な英語能力を修得する目的で、生体の生理学・解剖学に関わる英文について和訳を進める。特に、人体に関係する専門領域の英単語について、図を用いた選択問題として出題し、英語力を身に付ける。

《成績評価の方法と基準》

授業ではテキストである「医療従事者のための医学英語入門」から、指定箇所の英単語について選択式の問題を毎回小テストとして行い、これを総合評価のうちの10%分の平常点とし、出席点で20%、期末試験で70%として成績を出す。

《使用教材(教科書)及び参考図書》

「医療従事者のための医学英語入門」を教科書として用いる。

《授業外における学習方法》

毎回の授業で行う単語テスト対策として、指定箇所の英単語については選択肢から選ぶことができる程度の英語理解力を身に付けるため、授業外学習として意識しておく必要がある。

《履修に当たっての留意点》

高校および2年次までに習得した英語基礎力について身に付けておくこと。

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第1回 講義演習形式	授業を通じての到達目標	第6章の呼吸器系の背景部分についての英文和訳をできるようになる。	医療従事者のための医学英語入門	高校までの基礎的な英単語や文法について復習しておく。
	各コマにおける授業予定	呼吸器に関する解剖学・生理学についての英文の和訳を進め、肺や縦隔構造の特徴について解説を行う。		
第2回 講義演習形式	授業を通じての到達目標	第6章の呼吸器系の肺胞部分についての英文和訳をできるようになる。	医療従事者のための医学英語入門	医療従事者のための医学英語入門から指定箇所の単語について解答を選択できるようにしておく。
	各コマにおける授業予定	肺胞に関する解剖学・生理学についての英文の和訳を進め、呼吸の方法や上気道のしくみについて解説を行う。		
第3回 講義演習形式	授業を通じての到達目標	第6章の呼吸器系の呼吸器部分についての英文和訳をできるようになる。	医療従事者のための医学英語入門	医療従事者のための医学英語入門から指定箇所の単語について解答を選択できるようにしておく。
	各コマにおける授業予定	肺胞に関する解剖学・生理学についての英文の和訳を進め、呼吸の方法や下気道のしくみとガス交換のメカニズムについて解説を行う。		
第4回 講義演習形式	授業を通じての到達目標	第4章の循環系の背景・前半部分についての英文和訳をできるようになる。	医療従事者のための医学英語入門	医療従事者のための医学英語入門から指定箇所の単語について解答を選択できるようにしておく。
	各コマにおける授業予定	循環器系を構成する器官の名称や心臓周りの血管のついでの特徴や名称を解説する。		
第5回 講義演習形式	授業を通じての到達目標	第4章の循環系の背景・後半部分についての英文和訳をできるようになる。	医療従事者のための医学英語入門	医療従事者のための医学英語入門から指定箇所の単語について解答を選択できるようにしておく。
	各コマにおける授業予定	動脈や静脈の特徴や、血漿や血球など血液の成分について、役割や正常値を解説する。		

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	第4章の循環系の心臓・前半部分についての英文和訳をできるようにする。	医療従事者のための医学英語入門	医療従事者のための医学英語入門から指定箇所の単語について解答を選択できるようにしておく。
		各コマにおける授業予定	心臓の内部構造や心膜の働き、心内膜炎について作用機序を解説する。		
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	第4章の循環系の心臓・後半部分についての英文和訳をできるようにする。	医療従事者のための医学英語入門	医療従事者のための医学英語入門から指定箇所の単語について解答を選択できるようにしておく。
		各コマにおける授業予定	心内膜の機能や心臓の収縮のメカニズム、心臓の興奮伝導系について名称や作用機序を解説する。		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	第8章の泌尿器系の背景・前半部分についての英文和訳をできるようにする。	医療従事者のための医学英語入門	医療従事者のための医学英語入門から指定箇所の単語について解答を選択できるようにしておく。
		各コマにおける授業予定	尿の働きと生体の恒常性との関わり、腎臓の解剖学的・生理学的な特徴について解説する。		
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	第8章の泌尿器系の背景・後半部分についての英文和訳をできるようにする。	医療従事者のための医学英語入門	医療従事者のための医学英語入門から指定箇所の単語について解答を選択できるようにしておく。
		各コマにおける授業予定	腎臓の皮質・髄質についての解剖学的・生理学的な特徴や、ネフロンの働きについて解説する。		
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	第8章の泌尿器系のネフロン・前半部分についての英文和訳をできるようにする。	医療従事者のための医学英語入門	医療従事者のための医学英語入門から指定箇所の単語について解答を選択できるようにしておく。
		各コマにおける授業予定	ネフロンを構成する糸球体・尿細管の働きや、物質の再吸収について解説する。		
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	第8章の泌尿器系のネフロン・後半部分についての英文和訳をできるようにする。	医療従事者のための医学英語入門	医療従事者のための医学英語入門から指定箇所の単語について解答を選択できるようにしておく。
		各コマにおける授業予定	尿細管での物質の再吸収のしくみや尿生成の意義についての解説を行う。		
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	第1章の人体の細胞部分についての英文和訳をできるようにする。	医療従事者のための医学英語入門	医療従事者のための医学英語入門から指定箇所の単語について解答を選択できるようにしておく。
		各コマにおける授業予定	細胞発見の経緯や近代生物学の礎となるフックの概念について解説を行う。		
第13回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	第1章の人体の器官・組織・体系部分についての英文和訳をできるようにする。	医療従事者のための医学英語入門	医療従事者のための医学英語入門から指定箇所の単語について解答を選択できるようにしておく。
		各コマにおける授業予定	人体はいくつもの細胞が集まり組織を形成し、組織が集まり器官を形成し、器官が集まって系を構成し、系が集まって人ができているということについて解説を行う。		
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	第11章の内分泌系についての英文和訳をできるようにする。	医療従事者のための医学英語入門	医療従事者のための医学英語入門から指定箇所の単語について解答を選択できるようにしておく。
		各コマにおける授業予定	内分泌腺からホルモンが分泌されるという定義に加えて、内分泌腺の解剖学的知見と同時にホルモンの種類や働きについて解説を行う。		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	総合演習を行い、これまでの授業の内容について説明することができるようにする。	医療従事者のための医学英語入門	医療従事者のための医学英語入門から指定箇所の単語について解答を選択できるようにしておく。
		各コマにおける授業予定	これまでの授業の内容について演習を行い、重要ポイントのまとめ、および解説を行う。		

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床工学技士科(昼間部)		科目区分	基礎分野	授業の方法	講義演習
科目名	臨床医学英語		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対象学年	3年次		学期及び曜時限	通年	教室名	
担当教員	田中 智之	実務経験と その関連資格				
<p>《授業科目における学習内容》</p> <p>臨床工学技士として必要な英語能力を修得する目的で、生体の生理学・解剖学に関わる英文について和訳を進める。特に、人体に関係する専門領域の英単語について、図を用いた選択問題として出題し、英語力を身に付ける。</p>						
<p>《成績評価の方法と基準》</p> <p>授業ではテキストである「医療従事者のための医学英語入門」から、指定箇所の英単語について選択式の問題を毎回小テストとして行い、これを総合評価のうちの10%分の平常点とし、出席点で20%、期末試験で70%として成績を出す。</p>						
<p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <p>「医療従事者のための医学英語入門」を教科書として用いる。</p>						
<p>《授業外における学習方法》</p> <p>毎回の授業で行う単語テスト対策として、指定箇所の英単語については選択肢から選ぶことができる程度の英語理解力を身に付けるため、授業外学習として意識しておく必要がある。</p>						
<p>《履修に当たっての留意点》</p> <p>高校および2年次までに習得した英語基礎力について身に付けておくこと。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第16回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	第2章の骨格系の背景・前半部分についての英文和訳をできるようになる。	医療従事者のための医学英語入門	高校までの基礎的な英単語や文法について復習しておく。	
		各コマにおける授業予定	人体を構成する骨の数や骨の種類、骨芽細胞の働きや骨髄の機能について解説を行う。			
第17回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	第2章の骨格系の背景・後半部分についての英文和訳をできるようになる。	医療従事者のための医学英語入門	医療従事者のための医学英語入門から指定箇所の単語について解答を選択できるようにしておく。	
		各コマにおける授業予定	人体を構成する骨の種類について具体例を挙げ、その形状と骨の名称について解説を行う。			
第18回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	第3章の筋肉系の背景・前半部分についての英文和訳をできるようになる。	医療従事者のための医学英語入門	医療従事者のための医学英語入門から指定箇所の単語について解答を選択できるようにしておく。	
		各コマにおける授業予定	筋肉の重量比や筋収縮の機序、随意筋と不随意筋の働きの違いについて解説を行う。			
第19回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	第3章の筋肉系の背景・後半部分についての英文和訳をできるようになる。	医療従事者のための医学英語入門	医療従事者のための医学英語入門から指定箇所の単語について解答を選択できるようにしておく。	
		各コマにおける授業予定	内臓を構成する不随意筋の働きや、心筋の特徴などについて解説を行う。			
第20回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	第7章の消化器系の主要消化器官・前半部分についての英文和訳をできるようになる。	医療従事者のための医学英語入門	医療従事者のための医学英語入門から指定箇所の単語について解答を選択できるようにしておく。	
		各コマにおける授業予定	唾液腺の構造や働き、嚥下動作と食塊が口腔内から食道・胃へと送られる機序について解説を行う。			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第21回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	第7章の消化器系の主要消化器官・後半部分についての英文和訳をできるようになる。	医療従事者のための 医学英語入門	医療従事者のための医学英語入門から指定箇所の単語について解答を選択できるようにしておく。
		各コマに おける 授業予定	食塊が胃から小腸へと送られる機序や、小腸の表面積が大きくなっている理由について解説を行う。		
第22回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	第7章の消化器系の肝臓・前半部分についての英文和訳をできるようになる。	医療従事者のための 医学英語入門	医療従事者のための医学英語入門から指定箇所の単語について解答を選択できるようにしておく。
		各コマに おける 授業予定	肝臓の解剖学的・生理学的特徴について解説を行い、小腸で吸収された栄養が通る門脈についての説明を行う。		
第23回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	第7章の消化器系の肝臓・後半部分についての英文和訳をできるようになる。	医療従事者のための 医学英語入門	医療従事者のための医学英語入門から指定箇所の単語について解答を選択できるようにしておく。
		各コマに おける 授業予定	肝臓で生成される胆汁の働きと、グルコースの血液中での働きについて解説を行う。		
第24回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	第9章の神経系の背景・前半部分についての英文和訳をできるようになる。	医療従事者のための 医学英語入門	医療従事者のための医学英語入門から指定箇所の単語について解答を選択できるようにしておく。
		各コマに おける 授業予定	神経系を作る神経細胞の構造と機能や、興奮伝導のしくみについて解説を行う。		
第25回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	第9章の神経系の背景・後半部分についての英文和訳をできるようになる。	医療従事者のための 医学英語入門	医療従事者のための医学英語入門から指定箇所の単語について解答を選択できるようにしておく。
		各コマに おける 授業予定	神経細胞や細胞間の連絡場所であるシナプスの構造及び機能、興奮伝達のしくみ、脳・脊髄の構造や神経の分類について解説を行う。		
第26回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	第9章の脊髄部分についての英文和訳をできるようになる。	医療従事者のための 医学英語入門	医療従事者のための医学英語入門から指定箇所の単語について解答を選択できるようにしておく。
		各コマに おける 授業予定	脊髄の解剖学・生理学についての知見や、硬膜・軟膜・クモ膜といった髄膜についての特徴について解説を行う。		
第27回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	第9章の脳部分についての英文和訳をできるようになる。	医療従事者のための 医学英語入門	医療従事者のための医学英語入門から指定箇所の単語について解答を選択できるようにしておく。
		各コマに おける 授業予定	脳の解剖学・生理学についての知見や、大脳の機能局在および新生児から大人へと成長する際の特徴について解説を行う。		
第28回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	第9章の脳部分についての英文和訳をできるようになる。	医療従事者のための 医学英語入門	医療従事者のための医学英語入門から指定箇所の単語について解答を選択できるようにしておく。
		各コマに おける 授業予定	脳の成長と酸素・栄養消費に関する解説を行う。		
第29回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	第9章の脳部分についての英文和訳をできるようになる。	医療従事者のための 医学英語入門	医療従事者のための医学英語入門から指定箇所の単語について解答を選択できるようにしておく。
		各コマに おける 授業予定	脳とコンピュータとの違いやシグナル伝達のしくみ、およびニューロンとグリアに関する解説を行う。		
第30回	演習形式	授業を 通じての 到達目標	総合演習を行い、これまでの授業の内容について説明することができるようにする。	医療従事者のための 医学英語入門	医療従事者のための医学英語入門から指定箇所の単語について解答を選択できるようにしておく。
		各コマに おける 授業予定	これまでの授業の内容について演習を行い、重要ポイントのまとめ、および解説を行う。		